

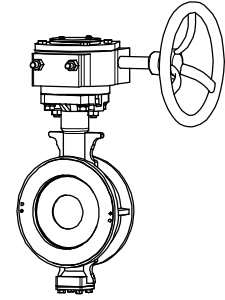
本製品を正しくご使用いただけますよう本書を最後までよくお読みください。

概要

二重偏心構造を採用することにより、弁体とシートの摺動摩擦が少なく低トルクで長寿命です。シートはセルフシール形状で低圧から高圧まで安定したシール性能を実現しています。

操作方式

ギヤ



バルブ









DN : ウェハー形 (JIS 5K / 10K)





製品コード

MA - D N G - 1 T T F - □ □ □
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)

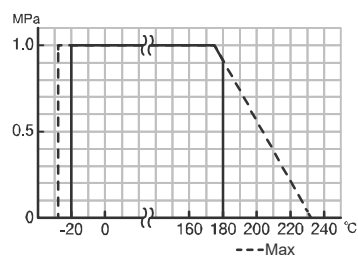
(1) 操作機型式 MA-	(4) ランク - : ハイフン	(7) 弁体材質 T : SCS13A
(2) 弁型式 DN	(5) 接続規格 1 : JIS 5K / 10K	(8) シート材質 F : F-PTFE
(3) 操作方式 G : ギヤ	(6) 本体材質 T : SCS13A	(9) 呼び径 [A] ex. 80A → 080

バルブ仕様

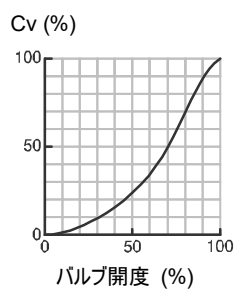
 冷温水
  油
  気体
  蒸気
  化学薬品
  海水
  スラリー
  負圧条件

弁型式	DN	
本体形状	ウエハー形	
接続規格	JIS 5K / 10K フランジ兼用	
適用流体	   	
最大圧力	1 MPa	
呼び径 [A]	80 ~ 300	
弁材質	本体	SCS13A
	弁体	SCS13A
	シート	F-PTFE
ステムシール	パッキン	PTFE

使用圧力と温度範囲



固有流量特性

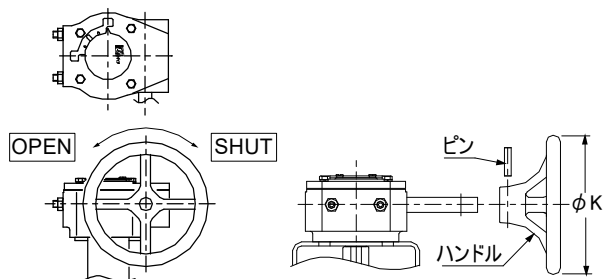


レンジアビリティ 50:1

手動弁取扱注意事項

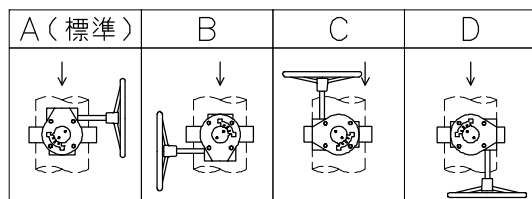
ギヤの取扱い

- ギヤのハンドルは取り外した状態で出荷されます。
- ハンドルとシャフトの固定穴を合わせて、ピンを打ちこんでください。



呼び径 [A]	ΦK	操作機型式
80 ~ 150	150	MAG-F07
200	300	MAG-F10
250 ~ 300	300	MAG-F12

ギヤ取付方向: 指示なき場合は A (標準)



手動弁取扱注意事項

ご使用にあたって

① 運送上の注意

丁寧に取扱い、落としたり、投げ下ろしたりしないでください。

② 保管上の注意

長期又は一時保管の場合は梱包のまま整理して保管してください。直射日光が当たる場所、ほこりの多い場所、水滴がかかる場所は避け、製品に無理な力が加わらないようにしてください。

③ 製品の確認

- 据え付け前に、必ず製品型式が正しいか、確認してください。
- ボルト類に緩みが発生していないか点検してください。

④ 手動操作時の注意事項

- 高温、又は低温の流体に使用する場合は、手動ハンドル部の温度に気を付けてください。
- 素手での操作は避け、軍手等の保護対策を必ず行ってください。

⑤ 手動操作時の注意事項

DN シリーズは流体圧のダイナミックトルクにより弁体が動きます。手動操作はバルブ前後に差圧が発生していない状態で行ってください。

流体が流れている状態での手動操作は危険ですので行わないでください。

流体の力により、弁体には閉まろうとする力が働いています。流れている状態でクラッチを外すと流体の力で閉方向に動きウォーターハンマー現象が起きることがありますので、このような状態での手動操作は行わないでください。

手動弁の取付け

① 配管の注意

- バルブを取付ける前に、配管内はきれいに清掃し、溶接スパッタ、錆、スケール、砂等がパイプ内に残存しないようにしてください。
- バルブは全閉した状態で出荷されますので、そのまま取付けることができます。

② 取付けの注意

- 流れ方向に対して取付け方向が決まっています。流れ方向の印に従って取付けてください
- 配管用ガスケットは流体性状、圧力、温度に適したものを選定してください。大きな温度変化が頻繁に起こる場合は、配管パッキンの面圧低下を防止する為に、スプリングワッシャの使用をお勧めします
- ウェハー形バタフライバルブは二枚のフランジにはさみ込み、ロングボルトで締め付けます。
- フランジとバルブの芯出しを正確に行い、弁体がパイプ内側に接触しないよう注意して取付け作業を行ってください。
- ボルトの締め付けは、対角線上を交互に均等な力で締めてください。
- 樹脂製のフランジを使用する場合は、接続用のボルトを強く締めすぎるとフランジが変形し漏れの原因となります。

③ 取付け環境

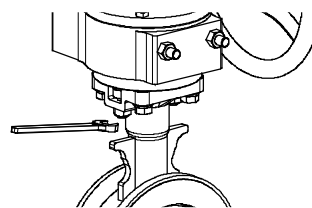
流体及び駆動部が凍結する可能性のある場合は、凍結防止策を施してください。

④ 取付け姿勢

取付け姿勢は正立から横向きまでとし、逆立は避けてください。製品の周辺には、手動操作、点検、交換作業が行えるスペースを設けて下さい。

⑤ 保温施工上の注意

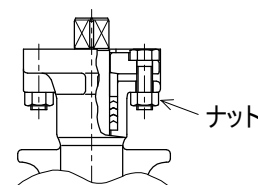
メンテナンスのためグランド部は保温しないでください。



グランドナットの増し締め

- グランド構造のバルブは、グランドパッキン部より漏れがないか確認してください。
- 漏れが発見された場合は、グランドナットを交互に均一に増し締めしてください。

下記の表のトルクを参考に、締め過ぎに注意してください。



グランド締め付トルク [N・m]	
呼び径 [A]	トルク
80	3.5
100 ~ 150	7
200 ~ 300	14

保守・点検

- 使用状況、環境に応じ、定期的に点検を行ってください。
- 通常半年に一度下記に従って行ってください。

点検内容

- 開閉の動作に異常はないか
- ねじ類の緩みの有無
- 流体温度、使用圧力の確認
- バルブのステム周りからの漏洩の有無
- ボルトの締め付けトルクの確認

手動弁取扱注意事項

故障と処置

製品が正常に作動しない場合は、下記項目で調査、点検をしてください。原因が不明、部品交換、修理が必要な場合は、その状況をご連絡ください。

故障状況	原因	処置
中間位置で止まる	付着物がある	付着物を除去
	バルブの変形	バルブを交換する
バルブ内部(シート)から漏れる	シートの摩耗、又は永久変形	バルブを交換する
		シートを交換する
ステム部(グランド構造)から漏れる	グランドパッキンが摩耗した	グランドナットを増し締めする
		グランドパッキンを交換する

バルブ、部品を交換する場合、不明な点は、弊社までお問い合わせ、又は交換要領書をご請求ください。